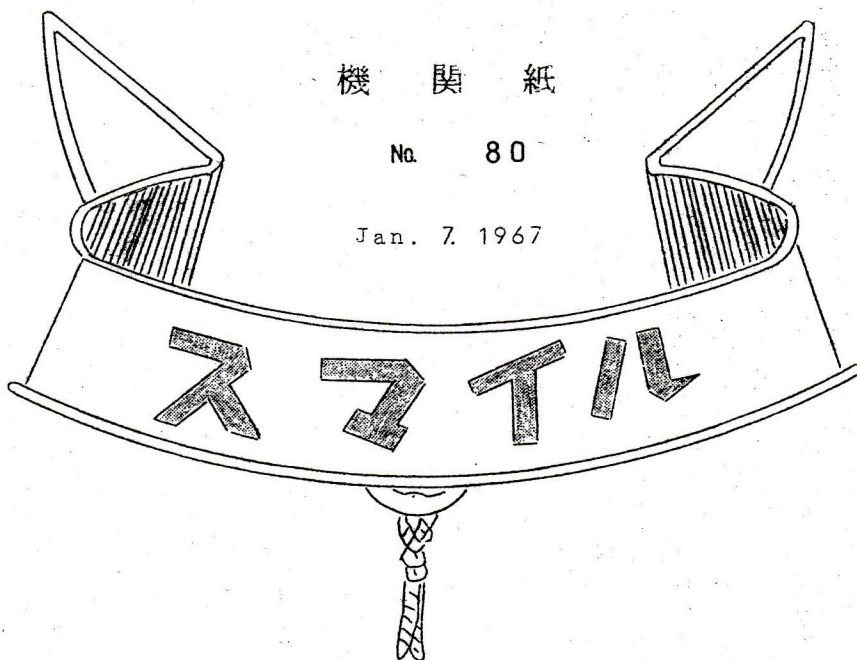


機関紙

No. 80

Jan. 7. 1967



新年のことば

団委員長 田中正男

新しい年を迎えて皆夫々今年こそは何事かを成し遂げてやらうという意気ごみにもえていることと思う。特に今年は四団にとって二十周年即ち人間で言えば成人式を迎える記念すべき年なのだかなおさらその抱いている抱負は大きいと思う。

ひるがえって現在の四団を見ると、団体こそ大きくなったが、末端まで血が通わない為か活動がにぶくなっていく感じがしないでもない。過去の隆盛の上に乗って繁栄しているように見えて、内部にはかなりガタがきている様に感じているのは私一人ではなさそうだ。どうかこの記念すべき二十周年を迎える今年こそ四団の再出発の新しい年として貰いたい。四団はクリスチャンスカウトなのだからリーダーは一人然らず受洗する位の信仰を持って貰いたいものだと思ふ。又今年の四月三十日はスカウト礼拝として教会の年間行事に組込まれたので、今からこの日は教会に全員出席するようにあけておいてほしい。

リーダーばかりでなく、スカウト全員がクリスチャンスカウトとして恥づかしくない一年を今年は送りたいものである。

今年やりたい事

年少隊 植原正俊

新しい年がくると、僕は、今年こそは、やりたいと思う事が、色々頭に浮んでくる。それが、沢山有りすぎて、全部は、やりきれない。今年はママが、

「どんな小さい事でも良いから、やろうと決心した事は、必ず一年間努力して、実行しなさい。」と言った。

まず、カブでしたい事は、矢章は今もずい分あるが、矢章もやって、修得課目もやっつけてしまいたい。今年は、いよいよ僕達は、「月の輪」になるので、これをやっている、

「もう一年カブをやってもらうかもしれないよ。」

と隊長がおっしゃったので、僕は内心ちょっと心配している。そして、病気にならない様に身体をきたえて、休まないで行く事。

次には、学校でも家でも、けんかをすると、けんかをした人もふゆかいだし、遊んでいる人達もつまらなくなるから、自分のためにも、他の人達のためにも仲好くしようと思う。

オ三番目は、「ハイ」と一度の返事で、

言う事を聞く事だ。これは、ママによく注意されるんだけれど、なかなかできない。

学校やカブでも、一塵返事ですぐ実行すれば、本当に叱られなくてすむんだけどな。

もうこの位にしておこう。守りきれないと、又約束違反になるからだ。

今年の生活

少年隊 齋崎文彦

今年は一つじ年、ぼくは人間としての生き方を考えるだいな年になったと思う。

B.S.の中でも次長としての責任を、はたさなくてはならないが、ぼくは、おちよこちよいな人間であるから、次長の責任をはたせるかどうか心配であるが、今年、がんばってやっていきたいと思う。

また、学校での生活も、規則などをまもって、勉強にもはげんでいきたいと思う。

また、去年の時の失敗したことや、よかつたと思うことを、もう一度思い出して反省してみる必要がある。

今年の目標としては、人間としての責任や、まもらなければならぬことはまもって責任ある人間として生きていきたい。

プロフィール

美藤伝導師 (副団委員長)

美藤先生の顔とかけて何となく。一円玉ととく。その心は。これ以上くづれない。或る口の悪い学生会の一人が進呈した名前である。教会の伝導師というイメージには遠いような、何時もにこと心から親しめる頼りになるお兄様というタイプ。これからの期待される伝導師像といえるだろう。キャンプの時の先生の活躍ぶりを知っている人はそれが先生にとって初めてのキャンプだったとは、とても信じられないと思う。最近ではスカウトがすっかりお気に召して、スカウトの研究やワークキャンプのオーソリティーにられたようである。スケートの時にはヘルメットをかぶったその誰姿をリンクの上に見ることが出来るし、新年の餅つき大会には黄色のハッピー姿にねじり鉢巻きといういでたちで、きねさばきもあざやかな先生の姿を見ることが出来た。

心からスカウトを愛し、情熱をもって先頭に立って下さることは四団にとって何とも頼もしい限りである。

|| 合同クリスマス礼拝 ||

十二月十七日 内藤青年隊員の司会により礼拝が進められ、美藤先生にお話をしていただき、ガールスカウトと一緒にクリスマス礼拝が守られました。スカウト一五〇名、ご父兄四〇名が出席され、他団の指導者の方々も参加して下さり盛会に終了しました。

|| 父兄総会開催される ||

十二月十七日 クリスマス礼拝に引続いて本年最終の父兄総会が開催され、スカウト教育に本質の一断面、一般社会とスカウト生活の関連性について、お話が杉原副団委員長よりありました。

|| ボーリングの会 ||

十二月二十六・七日 目黒パークレーンで青年隊主催で実施され、初期の目的を達成しました。

|| スケートの会 ||

十二月二十七・九日 品川スケート場で実施され、団委員、青年隊員の方々がお世話をして下さり、スカウト、ご父兄、そして他団の方々が参加、延べ八五〇名のスケーターでにぎわった。

|| 秋津療育園に奉仕 ||

十二月二十八日 二十周年の一環行事として一般社会に対する奉仕を活発にと、そして今後継続して奉仕することを目標にして、青年隊、年長隊、レンジャー、上級スカウト合同で都下秋津療育園に奉仕をしました。杉原副団委員長、美藤先生をはじめ三十六名がお手伝いをしました。

|| 餅つき大会 ||

一月七日 午後一時半より、念願だった餅つき会を行った。団委員の宇田川、今井、沢田、竜さんのお骨折りで実現し、一斗の餅米をあっという間についでしまった。カブも手伝い、からみ餅として一緒においしくいただいた。

|| 新春パレード ||

一月八日 新春恒例の新春祝賀国旗行進が大田・池上本門寺より山王小学校まで約四キロの行程で行われ、五千名余のスカウトが元氣よく寒風のなかをパレードをしました。

|| 団委宴会 ||

出席者 田中 杉原 美藤 宇田川 三島 手塚 今井 沢田 塩崎 石川 竜 里見 高島 河辺 萩原
一、年間プログラム(米年度) 概要

一、登録費納入に關して

昭和四十二年度及び四十三年度の登録費は各年度五〇〇円に決定

一、指導者慰勞会

一月二十一日(土) 赤坂敬老館 会費千円(不参加の方にも三〇〇円分担していただく)

一、指導者と団委員の懇談会をもちたい

|| 団会議 || 十二月二十六日(月)

出席者 杉原 曙口 大浜 万石 佐藤

伊藤 渡辺 戸田 大内 増田 里見

一、行事報告

一、昭和四十一年の反省

行事予定

一、二十周年委員会 一月十二日 教会

一、二十周年委員会

一、指導者研修会 一月十五日(日) 午後一時より教会において開催予定

一、指導者慰勞会 一月二十一日(土) 午後六時より赤坂敬老館において指導者をお招きして懇談をいたします。ふるって多くの方々出席されますようお願いいたします。

一、教会奉仕者研修会 一月二十二日(日) 礼拝に引き続いて教会において実施される

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

一、教会奉仕者研修会

入隊・進級・技能章

入隊

少年隊 未 鴻翔

進級

少年隊 杉田憲彦 初級→二級

年長隊 針替茂人 一級→初

倉持雅人 一級→初

技能章

年長隊 針替茂人 年長野宮、炊事

環境衛生章

倉持雅人 年長炊事、環境

衛生章

トピックス

おめでとう 就職

今春大学を卒業される左記の人々の就職が内定しました。社会人としての好スタートと活躍を祈ります。

古矢新一君 (玉川学園大学)

日本オルガン株式会社

佐藤 洋君 (国士館大学)

浜村観光株式会社

内藤君 堅信札を

青年隊員内藤正樹君は、十二月二十五日のクリスマス礼拝において飯牧師より堅信札をうけられた。内藤君は、すでに幼

児洗礼を受けているので信仰告白をして教会員の仲間入りをしたわけです。

人事往来

田中団委員長スイスへ

大学の所用で会議に出席されるため一月七日スイスにむけ出発されました。ご帰

国は一月末の予定

荒垣さん帰国

元副団委員長としてご奉仕いただいた荒垣英氏は、六年ぶりでご夫人ご同伴で

帰国された。しばらく日本に滞在された後、米国にまた向われます。

育成会員募集中

スカウトの育成をり、Bヤスカウトに關係した方々、近隣社会の方々に對してご協力をお願いをいたしておりますが、現在のところ約三十名の方々のご協力があり、石田隆一、耕司ご兄弟、中村摩君らり、Bの協力もあり感謝いたしております。目標の五十名には、まだ到達しておりませんので、お知り合いの方々にもお誘いめいたしたいと思います。パンフレットなどは用意いたしております。

編集後記

新らしき年一九六七年を迎えた。毎年何となく足がむく明治の宮に、ことしも足を運んだ。相交らずの混雑ぶりである。何に何を祈り、何を期待しているのか、ただ人の流れに心は無視されたように流されている。時着に着飾った若者が目立ち、昨年比へ若者の和服姿がとくに多かった。原宿族に荒されたという原宿の街々は、元朝から若者の熱気にあふれていた。

午前五時、ここから離れると東京の街はうそのように静かである、はたしてこの静寂の後には何がくるのであろうか。原宿にむらがる若者の熱気を、本当の情熱として社会のため、人のために燃やすことができたらと願うのは私だけではあるまい。

社会人としてスカウティングに連なるものみな、ご父兄も、団委員も、そして指導者も、この一年、現実から逃避することのない誠しい態度で立ち向う一年にしたい。二十周年を歴史上の二十年にしないことを願ひ、スマイルと共に歩みたい。

あらたきに

玉砂利のおと

きき入りて

古きましのび

あたらしきをしる